



第47期 第2四半期報告書  
2009.04.01-2009.09.30



Aoi Advertising Promotion Inc.

## 企業理念

# Dream & Happiness

私たちは映像制作を通じ、すべての人々と喜びを分かち合い、  
ひろく経済、情報、文化に貢献する企業をめざします。

## 行動規範

- 時代のニーズに応え、つねに創造的であること
- 思考と行動において、つねに情熱的であること
- 未知のものを恐れず、つねに挑戦的であること



## ごあいさつ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに当社第47期第2四半期を終了いたしましたので、事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、政府・日銀等から公表される経済指標に表れているように、最悪の状態からは脱したものと思われ  
ます。しかしながら、企業部門は輸出が回復しつつあり設備投資も減少幅が縮小傾向にある等、立ち直りの兆しが見えるものの、家計  
部門が雇用・所得環境の改善が見られず相変わらず力強さを欠いており、予断を許さない状況が続いております。

当広告業界におきましても、わが国経済の動きを反映し広告需要が大きく落ち込んだままの状態が続き、加えて当社が主力とする  
テレビコマーシャルの需要は、メディアの新しい展開による広告媒体の多様化等の影響もあり更に厳しい状況となっております。

このような環境の中、グループ会社一丸となって、業績の維持・向上に向け努力してまいりましたが、不本意な結果となりました。  
しかしながら、営業努力・経費削減努力の成果も見えつつあり、期末に向けて業績の回復に更に努める所存でございます。

株主の皆様には、今後とも一層の力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

なお、このような厳しい状況ではございますが、第2四半期配当金につきましては前期に引き続き、一株当たり7円とし、12月4日を  
支払開始日とさせていただきます。

私たちは「株主利益の増大を図る」とともに「社員、経営者、取引先、社会等すべてのステークホルダーに満足される共益的利益を  
維持・向上する」ことが最大の使命であると考え、コンプライアンスを経営の軸におき、迅速かつ適切な意思決定と、公正で透明性  
の高い事業運営を行ってまいります。

代表取締役社長



## 株主の皆様へ

### 〈当社グループの経営成績について〉

厳しい経営環境の中、当社グループでは、グループ各社の組織を挙げて業績の維持・向上に向けて鋭意努力してまいりました。しかしながら広告需要減少の影響は思いのほか大きいものでした。

当社は、売上高が計画はもちろん前年実績までも下回り、10数年前の水準まで落ち込みました。利益的には、制作原価率の低減や固定費の抑制が奏功し、不本意ではありますが最小限の減少で止めることができました。

前期総じて不振であった子会社では、債務超過に陥り再建を図っている(株)ワサビ(旧(株)メディアンスパイク)と減価償却費負担が減少した(株)メディア・ガーデンが黒字転換し、(株)デジタル・ガーデンは、引き続き安定した業績を維持しております。前期実質初めての欠損計上となった(株)葵デジタルクリエーションと(株)エムズプランニングは、苦戦しつつも改善傾向にあります。また、創業実質2年度目の(株)スクラッチは、顧客開拓途上にあり黒字転換には今しばらく時日を要する見込みです。前期第3四半期初からグループ入りした(株)シースリーフィルムは、制作管理体制強化策実施等の結果、水面下ながら大幅改善をしております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高61億4千8百万円(前年同期比80.0%)、営業利益8千4百万円(前年同期比33.3%)、経常損失1億1百万円(前年同期は、経常利益2億2千4百万円)、四半期純損失5千9百万円(前年同期は、四半期純損失8千5百万円)となりました。

なお、デジタルサイネージネットワーク開発及び生活行動情報流通事業等を推進するため、本年4月に立ち上げた(株)タクサシステムズ(現払込資本205百万円、持分法適用会社)に係る持分法投資損失が、弊社グループの出資が先行する増資スケジュールの関係から、当第2四半期連結累計期間では、当連結会計年度に想定される比率以上で算出された数値で、営業外損失に計上されております。

また、上記新規事業の開発費用等の(株)シースリーフィルムから(株)タクサ

システムズへの譲渡に係る営業譲渡益が、特別利益に計上されております。

### 〈当社グループの事業活動について〉

#### 映像制作事業部門

厳しい状況の中、事業の中心であるCM作品の売上高は、大きく落ち込み40億2千8百万円(前年同期比75.9%)に止まりました。業種別売上状況は、「金融・保険」「通信」「食品・飲料」が健闘しましたが、これまで牽引してきた「自動車」「電気機器」が大きく後退しました。

今後の柱と期待される映像作品の売上高は、6億9千3百万円(前年同期比82.0%)となりました。経済情勢を反映し、Web関連作品・映画関連作品ともに不振でした。

この結果、プリント等を加えた当第2四半期連結累計期間の映像制作事業部門が売上高55億7千9百万円(前年同期比78.7%)となりました。

#### その他の事業部門

(株)メディア・ガーデン、(株)デジタル・ガーデン及び(株)エムズプランニングとも、厳しい状況下健闘しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のその他の事業部門が売上高5億6千9百万円(前年同期比96.4%)となりました。

#### 〈今後の見通し〉

今後のわが国経済は、最悪期を脱し緩やかな回復に向かうものと思われませんが、依然として世界経済の不安定さやこれまでの景気対策の反動等景気の下振れリスクを抱えていることも事実です。民主党を中心とする新政権は、家計部門へ配慮した経済政策を展開しようとしていますが、雇用や社会保障制度への不安を払拭しなければその効果も半減しかねません。併せて、今回経験した外需依存型経済の脆さからの脱却を図るべく、内需拡大を考慮した将来に向けた施策(新エネルギー・環境・少子高齢化・災害防

## CM特集

# TV Commercials

日産自動車 キューブ  
「Remix cube」



日本コカ・コーラ Fanta  
「ファン太郎が行く・俺たちのサイダー」



許諾：日本コカ・コーラ株式会社

花王 アジエンス  
「水と生命力」



第一三共ヘルスケア パテックスうすびたシップ  
「うすいですね」



※著作権保護のため作品画像のWEB掲載はしておりません

止・農業振興等々)を早期に実施しないと、停滞が長期化する懸念もあります。

広告需要は、暫くは冷え込んだまま推移することが予想されます。また、映像制作業界を取り巻く環境も広告媒体の多様化で変わってまいりました。

ワンストップサービスに対応できる体制の整った制作会社としての強みを活かし、引き続き積極的な営業活動を展開するとともに制作原価率の低減

や固定費の節減に努め、メタボリックな体質から10数年前の筋肉質な体質に改善する所存であります。

以上により、通期の連結業績の見通しにつきましては、以下を予想しております。

	連 結	前期比
売 上 高	139億円	82.9%
営 業 利 益	4億6千万円	106.4%
経 常 利 益	1億3千万円	33.4%
当 期 純 利 益	2億5千万円	—

## 経営目標

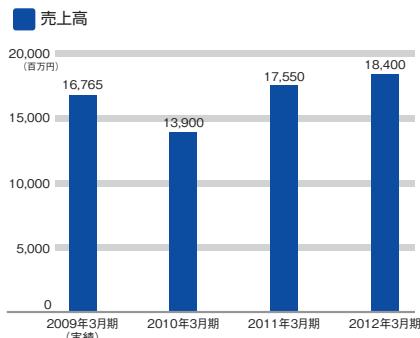
当社グループは中期経営目標として、

- 1: グループ総売上高  
190億円以上  
(2012年3月期184億円予定)
- 2: Webコンテンツ、映画等テレビコマーシャル以外の映像コンテンツの売上高  
40億円以上  
(2012年3月期22億2千万円予定)
- 3: 1株当たりの当期純利益 50円以上
- 4: 株主資本当期純利益率 (ROE) 7%以上

を掲げております。

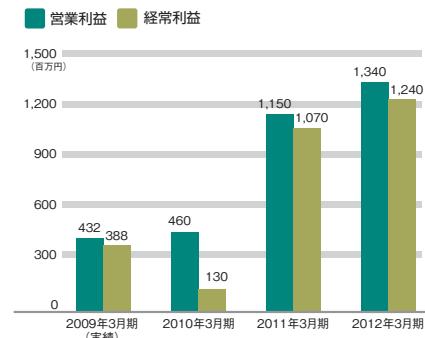
なお、上記目標の見直しは、今後の経営環境の変化を見定めた上で行う予定です。

## 2012年3月期の業績目標数値



売上高目標

**184** 億円



営業利益 / 経常利益目標

**13**億4千万円 / **12**億4千万円

万有製薬 AGA  
「夏の抜け毛は要注意」



NTTドコモ Answer  
「2つの告白」(パケ・ホーダイ ダブル)



サントリービジネスエキスパート 統合 CP  
「CP・食材御三家・前期」



明治乳業 明治プロビオヨーグルト LG21  
「希望の歌声」



※著作権保護のため作品画像のWEB掲載はしていません

## Films

### 映画「しんぼる」

メキシコのとある町。妻と2人の子供そして父と暮らすプロレスラー、エスカルゴマンはいつもと変わらぬ朝を迎えていた。しかしその日、妻は“何か”が起こりそうな胸騒ぎを感じていた。

一方、ある男が目覚めると、四方を白い壁に囲まれた部屋に閉じ込められていた。ここは何処なのか？なぜその部屋に閉じ込められたのか？誰の仕業？途方に暮れる男は脱出を試みるが、出口が見当たらない。壁に触れてみると、男の視線の先に“あるもの”が見えた…。企画・監督・主演：松本人志、脚本：松本人志・高須光聖。2009年9月12日公開。当社制作協力作品。



© YOSHIMOTO KOGYO CO.,LTD.2009

### 映画「南の島のフリムン」

ガレッジセール・ゴリ、長編監督デビュー作。自身の故郷、沖縄を舞台にした映画。TVじゃできない禁断の笑い、甘すっぱい恋、スポ根、沖縄への愛…。ハチャメチャな要素が満載なのに、なぜか感動してホッとココロが温くなる、最高にパワフルでラブ&ピースな物語。主演はゴリ、出演は照屋政雄、諸見里大介（ハム）、ポビー・オロゴン、AKINA、ISSA / KEN(DA PUMP)、夏川りみ、川田広樹(ガレッジセール)、平良とみ ほか。2009年8月29日公開。当社制作協力作品。



© YOSHIMOTO KOGYO CO.,LTD.2009

## Web Contents

### アディダスジャパン Webムービー 「pitching machine」「hole」 「egg football」「板割り」「ビリヤード」



プロスポーツ選手の能力はどれくらいすごいのか？それを実験するために企画された無理難題。

1. バットに空けた穴に、投げられたボールは通せるのか？
2. ピッチングマシンのボールに、投げたボールを当てられるか？
3. 卵でリフティングはできるのか？
4. サッカービリヤードで、ブレークショット一発でオールポケットinができるのか？
5. シュートで空手の板割りができるのか？

遊び心をくすぐられる5つの企画に野球・サッカーの猛者たちが、威信を賭けてチャレンジする。いったいどこまでが本場で、どこからがCGなのか？実験的な作風が、視聴者の興味を刺激し、何回もクリックしたくなるような作品になっている。普段は見られない、選手たちのリラックスした表情も話題を呼んだ。

Spikes Asia 2009のデジタル部門で「ビリヤード」篇がブロンズを受賞。

## CM特集

# TV Commercials

大塚製薬 POCARI SWEAT  
「運命の夏」



三菱東京UFJ銀行 バンクイック  
「スマートに注文する計画」



資生堂 エリクシルシュベリエル レチバイタル  
「タイムマシン」

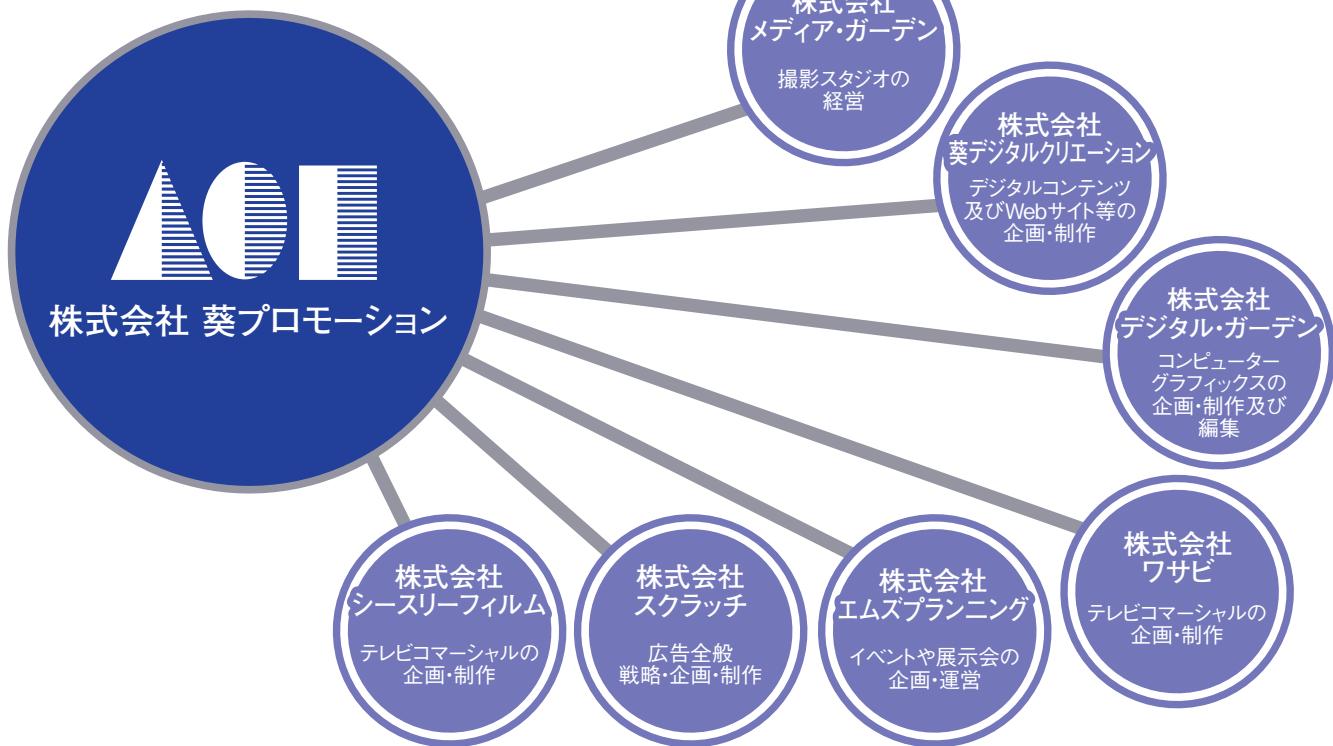


ハウス食品 メガシャキ  
「メガシャキ新発売」



※著作権保護のため作品画像のWEB掲載はしていません

## 葵プロモーショングループのご紹介



## 経営の方向性

### ◆ワンストップサービス機能の強化◆

専門性の高い各グループ会社との連携により、広告主からの幅広いニーズにワンストップで応えられる体制を強化します。

### ◆優れた映像コンテンツの制作◆

テレビコマーシャルの制作を通じて培った高度なクリエイティビティを活かし、見る人の心に届くクオリティの高いコンテンツを制作します。

### ◆グローバルな制作体制の積極的活用◆

海外の優れた才能を日本から直接活用できるネットワークや、海外プロダクションとの友好関係を活かすグローバルな制作体制を強化します。

### ◆クロスメディアに対応できる人材の育成◆

テレビコマーシャルの制作、Webコンテンツの制作はもちろん、メディア戦略の提案までできる企画・開発力を備えた人材の育成に努めます。



株式会社 葵デジタルクリエーション

Digital  
Contents

資生堂 dプログラム  
スペシャルサイト「d-comic」

株式会社 ワサビ

IVCM

久光製薬 フェイタス  
「その朝」



株式会社 エムズプランニング

Events

ポーラ  
新ポーラ銀座ビルオープニング (09.10.01)  
レセプション&オープニングカウンタダウン壁面イルミネーション

株式会社 シースリーフィルム

IVCM

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン  
さらさ  
「InnerVoice」



株式会社 メディア・ガーデン

Studio



横浜市港北ニュータウンの一角に立つ、世界でも最高水準の設備を持つCM撮影スタジオ。約2,000坪の敷地に、撮影規模や用途に応じて選べる3タイプのスタジオを有する。2006年からは照明機材のレンタル業務もやっている。

株式会社 デジタル・ガーデン

Post Production



HD対応のオンライン編集室を5チェーン保有し、CG作業からMAまで一貫した編集作業が可能。2008年10月にはアメリカのCompany3社、Method社と業務提携を結び、国際間の距離をなくしたりリモートセッションのサービスを始めた。

“ものづくりのための「戸棚」”

## Cabinet.

2009年7月、連結子会社であるワサビ (CM制作)、葵デジタルクリエーション (Webコンテンツ制作)、エムズプランニング (イベント企画・運営)、スクラッチ (コミュニケーション戦略)、および協力会社ティー・ケー・アンド・サンズ (グラフィック制作) の5社を中央区銀座「Cabinet.」ビルに移転・集結しました。

“コミュニケーションの変化に対応するための5つの引き出し”というコンセプトの下、「葵プロモーションのグループパワー」を発揮する新たな戦略拠点としてスタート。課題や案件に応じ、各社の得意分野を組み合わせるサービスを提供するためのユニットです。

CMに限らずイベントやWeb、グラフィックなど幅広いプロジェクトを受注することで、あらゆるコミュニケーションのカタチに対応していく体制を強化します。

## 第2四半期連結財務諸表

### 第2四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	前第2四半期 (平成20年9月30日現在)	当第2四半期 (平成21年9月30日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)				
1	流動資産	9,285,596	8,415,009	9,311,028
	固定資産	7,565,122	7,004,996	7,280,139
	有形固定資産	5,094,931	4,957,476	4,995,340
	無形固定資産	158,211	289,466	331,905
	投資その他の資産	2,311,979	1,758,053	1,952,893
	資産合計	16,850,718	15,420,006	16,591,168
(負債の部)				
1	流動負債	4,927,277	3,808,942	5,192,582
	固定負債	2,560,148	2,857,513	2,434,036
	負債合計	7,487,426	6,666,456	7,626,618
(純資産の部)				
	株主資本	9,255,040	8,626,452	8,878,159
	資本金	3,323,900	3,323,900	3,323,900
	資本剰余金	3,945,069	3,944,754	3,944,754
	利益剰余金	2,776,958	2,237,150	2,488,035
	自己株式	△ 790,887	△ 879,352	△ 878,530
	評価・換算差額等	4,187	3,522	△ 1,067
	新株予約権	—	30,268	—
	少数株主持分	104,064	93,307	87,456
	純資産合計	9,363,292	8,753,550	8,964,549
	負債及び純資産合計	16,850,718	15,420,006	16,591,168

### 第2四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	前第2四半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	当第2四半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高		7,684,260	6,148,913	16,765,815
売上原価		6,715,031	5,162,747	14,632,725
2	売上総利益	969,228	986,166	2,133,089
	販売費及び一般管理費	715,319	901,669	1,700,781
	営業利益	253,909	84,496	432,308
	営業外収益	19,587	16,917	85,308
	営業外費用	48,700	202,704	128,741
3	経常利益(△損失)	224,796	△ 101,290	388,875
4	特別利益	14,047	172,898	44,591
4	特別損失	182,522	53,987	381,828
	税金等調整前四半期(当期)純利益	56,321	17,620	51,638
	法人税、住民税及び事業税	54,839	16,237	292,081
	法人税等調整額	82,837	54,987	61,292
	少数株主利益(△損失)	4,521	5,850	△ 12,086
	四半期(当期)純損失(△)	△ 85,876	△ 59,454	△ 289,648

**POINT 1** 流動資産及び流動負債の減少は、売上高の大幅減少に伴う売上債権や仕入債務の減少に伴うものです。

**POINT 2** 売上総利益の改善は、制作原価率の低減や退職給付費用等固定費の抑制によるものです。

**POINT 3** 経常利益の悪化は、ストックオプション費用、連結子会社増加による従業員給料や持分法投資損失の計上によるものです。

**POINT 4** 特別利益・損失の増減は、当第2四半期において、子会社の事業譲渡益が特別利益に、また、前期において、役員退職慰労金等が特別損失に計上されていることによるものです。

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：千円)

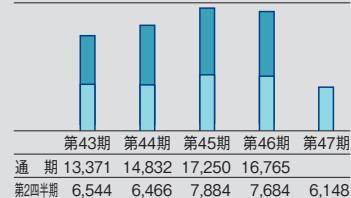
科目	期別	前第2四半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	当第2四半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
	5 営業活動による キャッシュ・フロー		361,016	1,375,883
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 293,164	△ 167,843	58,667
財務活動による キャッシュ・フロー		601,654	△ 446,198	△ 321,230
現金及び現金同等物に 係る換算差額		192	△ 269	△ 3,512
現金及び現金同等物の 増加額		669,698	761,572	673,571
現金及び現金同等物の 期首残高		910,811	1,584,382	910,811
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		1,580,509	2,345,954	1,584,382

### POINT 5

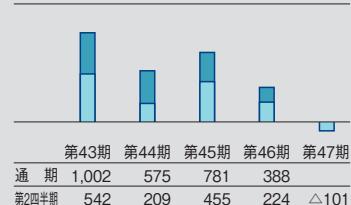
営業活動によるキャッシュ・フローの改善は、主に売上債権の減少によるものです。

## 財務ハイライト (連結) □ 第2四半期 □ 通期

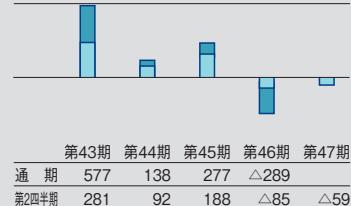
売上高 (単位：百万円)



経常利益(△損失) (単位：百万円)



四半期(当期)純利益(△純損失) (単位：百万円)



### ★株主様のご住所・お名前に使用する文字について

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録しております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。なお、株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

### ★上場株式配当等のお支払いに関する通知書について

租税特別措置法の改正により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について、株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」をご送付することが義務づけられました。配当金領収証にてお受取りの株主様は、年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は、配当金支払いの際にご送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。

## 会社の概況

(平成21年9月30日現在)

商号	株式会社 葵プロモーション
設立	昭和38年10月25日
資本金	3,323,900千円
従業員	278名(葵グループ446名)
主要な事業内容	テレビコマーシャルの企画及び制作を主に、映像制作及びこれらに付帯する業務
主要な事業所	本社 東京都品川区 支店 米国カリフォルニア州カラバサス オフィス 新橋(東京都中央区) 赤坂(東京都港区) スタジオ 神奈川県横浜市都筑区 編集スタジオ 東京都渋谷区

## 取締役及び監査役

(平成21年9月30日現在)

代表取締役社長	高瀬 哲
取締役副社長	本多 俊也
専務取締役	八重樫 悟
専務取締役	藤原 次彦
取締役	小甲 則夫
取締役	佐藤 恵
取締役(非常勤)	大村 正一郎(平成21年10月4日逝去いたしました)
常勤監査役	斉藤 博
監査役	田村 慎太郎
監査役	西本 行孝
監査役	湯佐 富治

(注) 田村慎太郎、西本行孝、湯佐富治の3氏は社外監査役であります。

## 株式の状況

(平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数	38,000,000株
発行済株式の総数	11,962,734株
(自己株式 1,371,906株を除く)	
株主数	2,716名

### 大株主の状況

株主名	持株数	出資比率
	(千株)	(%)
株式会社コスモチャンネル	1,312	10.9
株式会社イマジカ・ロボットホールディングス	1,000	8.3
松本 洋一	575	4.8
原 仁	461	3.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	338	2.8
原 文子	328	2.7
葵プロモーション従業員持株会	254	2.1
株式会社オムニバス・ジャパン	220	1.8
株式会社テーオーシー	202	1.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	181	1.5

(注) 1. 出資比率については、自己株式(1,371千株)を控除して算出しております。  
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、全て信託業務に係る株式数であります。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 単元株式数 500株
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当の支払いを行うときは9月30日といたします。
- 公告方法 電子公告の方法により行います。  
公告掲載URL (<http://www.aoi-pro.com/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
フリーダイヤル (0120) 232-711
- 上場証券取引所 東京証券取引所

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# 株式会社 葵プロモーション

〒141-8580 東京都品川区大崎一丁目6番1号

TEL (03)3779-8000 (代表)

[www.aoi-pro.com](http://www.aoi-pro.com)

